



## 第15回例会報告 \*通算例会回数4116回目\* (11月10日 於 今治商工会議所2階 大会議室)

## 【出席報告】

・会員数 55名 ・出席数 32名 ・欠席数 23名  
 ・当日出席率 63.00% ・前々回修正出席率 100%  
 <欠席会員> 青野(淳)、平田、廣川、板脇、神道、木村、小堀、河野、楠橋、宮道、岡本、重松、坂本、辰巳  
 渡辺仁、八木(正)、八木(真)、矢野  
 [免除会員] 青野(明)、檜垣(巧)、冠、村上、山本  
 <10/20 欠席補填>(10/24 今治北) 久米、楠橋、桑森、大澤、岡本、渡辺仁、渡邊、八木(正)、八木(真)、八木(伸)  
 (10/25 今治南) 重松 (10/31 今治北) 平田、廣川、板脇、神道、片山、小堀、宮道、坂本

◇米山奨学生尹新亮さん一言スピーチ・最近では就職活動で忙しい日々を送っています。

◇会長報告・10月29日(土)川之江RC創立60周年記念式典に会長幹事で出席いたしました。

◇幹事報告・例会終了後、大会議室にて11月定例理事会を開催いたしました。

・11月のロータリーレートは1ドル148円となっております。

◇親睦活動委員会・お誕生日スピーチ・大澤正尚会員：生まれてからの日数を数えると約31,000日になります。これからはよろしく願います。▼眞鍋次男会員：古希を迎えるということで、家族が色々企画をしてくれています。

## 青少年奉仕委員会アワー

◆株式会社今治・夢スポーツヒューマンディベロップメントグループ『しまなみ野外学校』河崎梨乃様より今回の主旨の説明：2022年10月9日・10日しまなみアースランドで開催された「秋の森でチャレンジDayキャンプ」に今治青少年ロータリー友の会の皆さん・今治明德矢田分校IAC部員の皆さんが参加しました。このプログラムは、2日間の活動を通して障がいや病気をもつ子どもや家族と実際に関わり、コミュニケーションの機会を持つことで、障がいや病気をもつ子どもや家族がどのような気持ちを抱えやすいのか、また彼らが生きやすい環境・彼らの力が発揮できる社会をどのように作ることができるのかという視点に活動を通して気づくことを目的にしています。

## ～チャレンジDayキャンプ 活動中の動画視聴～

◆今治明德高等学校矢田分校IAC部員 内山友香さん・伊藤杏さんより活動報告：○一日目は、2日目に向けての事前活動を主に行いました。障がい者の生活を体験するために軍手を着用し鶴を折ってみたり、車イス障がいの子どもときょうだい、その両親の4人家族でそれぞれ役割を決め、実際に車イスを押して外で活動を行い、日常生活の大変さについて学びそれぞれの視点から意見交換を行いました。…車イス障がいの子どもがいると、親はどうしてもその子に付きっきりになってしまうので、きょうだいと合わせて二人の子どもの面倒を見ることの大変さや、障がいを持つきょうだいがいることで両親は自分を見てくれないと感じてしまうのではないかということについて考えました。▼その後は2日目の活動を円滑に行うための活動を行いました。ピザ作りでは実際に各自が作って昼食として食べました。…調理を行う中で、ソースをとる係や、火元に注意することなど2日目に向けての確認を行いました。▼昼食後、フィールド遊びの場所へと探索に行き、車イス等での参加者もいるとのことだったので、みんなで協力して車イスを押して上がりました。フィールドには木登りができる木やブランコ・小川などがありました。…山には危険な場所が多くあり、崖側を歩くときは私たちが危険な方を歩くことや、ケガをしそうな場所がないか・どういった遊びができそうかなどの意見を交換しました。○2日目のピザ作りでは1日目に作った時気を付けた方がいいと思ったことを思い出しながら、担当したご家族に作り方を説明しました。待ち時間には、ピザがどんな風に焼けているのかを上から覗いてみたりしました。焼きあがった時、生地がふっくらと焼きあがってとても美味しそうでした。▼午後からの森遊びでは前日に確認した注意する場所・危ない植物など呼びかけつつ、川遊びやブランコ・崖登りなど色々な遊びをしました。草むらや川の中には昆虫や小さいカニ・カエルなど生き物がたくさんいました。▼遊び終わってからは焚き火をしました。焚き火では拾った栗や持ってきたマシュマロなど焼いて食べました。▼終了後のアンケートでは『参加して良かった!』とたくさんの方が書いて下さりとても嬉しかったです。



◆今治明德高等学校矢田分校IAC部員 伊藤杏さん感想：車イスに乗る体験をした時、少しの段差やつかかりが直にくるよう感じたので驚きました。ピザ作りでは、当日うまく説明できるか不安でしたがスタッフの方の手助けもありうまく説明できたと思います。森遊びでは参加した子たちが自分が思っていたよりも元気で楽しそうに遊んでいました。待ち時間ではご家族の皆さんとお話する機会があり、自分の成長になったと思うこともありました。今後この経験を活かせるようなことがあれば先頭に立ち行動したいと思います。◆今治明德高等学校矢田分校IAC部員 内山友香さん感想：活動を通し学んだことは、障がいのせいで困難なことがあったとしても、多くの人が手を貸すことで乗り越えられるということです。当日の参加者にはダウン症・ADHD・視覚障がい者などの子どもが参加しており、中にはバギーを利用している参加者もいました。山への道は石や溝でガタガタで上手く進んで行く事が難しく、私はバギー利用者の方が他の参加者と同じ



## 1日目

<予定>

1. 自己紹介
2. 障がい者の生活やきょうだいの気持ちを考えよう
3. ピザ作り
4. 森遊びのフィールド探索
5. 振り返り

### 活動内容

#### 2. 障がい者の生活体験

軍手を着用し折り鶴を作成

#### 2. きょうだいの気持ちを考える

- ・車椅子障がい者
  - ・父親
  - ・母親
  - ・きょうだい
- それぞれ役割を決めて活動

#### 3. ピザ作り

- ・ピザを窯で焼くとき  
魚げすぎに注意。火元に近づきすぎない。

#### 3. 森遊びのフィールド探索

- ・山の頂側を歩くとき  
自分が危険な方側を歩く
- ・行動可能範囲や道具の確認  
ケガをしそうな所がないか確認

#### 当日の目標

きょうだいさんと障がいのある子たちと  
全力で楽しむ

ケガなく安全に楽しむ

## 2日目

<予定>

1. 挨拶
2. ピザ作り
3. 森遊び
4. 振り返り

### 活動内容

#### 1. 挨拶

初めはものすごく緊張

#### 2. ピザ作り

・家族さんと一緒に作成  
臨機応変に予定変更

・火の傍に近づきすぎないように注意

#### 3 森遊び

- ・車椅子やバギーに乗った参加者と一緒に上がる
- ・小川で生き物探し、葉拾い
- ・遊具遊び、木登り
- ・焚火で焼き芋やマッシュマロ焼きを食べる

#### 2日間を通して

- ・事前学習での学びを生かして2日目の活動に取り組めた
- ・今後障がい者の方と関わる時に経験を生かしていきたい
- ・苦手なことを初めからできないと決めつけるのではなく一つずつ取り組むこと
- ・どの家族さんもどんな障がいを持っていたとしても自分の子供にとっても愛情をもって接している

ように山へ上がっての活動は難しいだろうと思っていました。ですが、森へ上がる際には多くのスタッフの方々が手を貸し一緒に山へ上がることができました。普段の日常生活では障害を理由に多くの制限がある活動を余儀なくされていると思います。ですがこのイベントの中では、専門家の方や多くのスタッフがいてとても安全に配慮された環境の中で安心して非日常を味わうことができるとも素晴らしい活動であると思いました。私は今回のイベントをきっかけに障がい者の方の参加をメインとしたイベントがあることを初めて知りました。

◆今治青少年ロータリー友の会 横山聖奈さん、渡邊小蒔さんより活動報告:1日目は病気や障害を持った子ども・ご家族の気持ちを考えること、当日に行うピザ作りや森でのフィールド探索を実際に行ってみることにしました。▼障がいや病気を持っている方そのご家族の気持ちを理解するため実際に、車イスに乗る本人役・父母役きょうだい役など役割を決め外で想定できる動きをしてみてもこのようなことを感じました。本人役からは自分のしたいことができなくて悲しい・周りのこと同じようにすごせず苦しいという意見がありました。父母役からは子供を平等に見てあげられないかもという焦り辛さ、きょうだい役からは自分をあまり見てくれなくて悲しいという意見がありました。…障害や病気を持った方そのきょうだいの気持ちを完璧に理解することは難しくできませんでしたが気持ちの一部に触れること・その方々と接する際にどのようにすればいいか考えることができました。▼ピザ作りでは、焼きすぎて焦げる・生地が思うように広がらないなど大変なところもありましたが、単純ながらも普段できない体験ができるということがわかり家族で楽しめそうだなと思いました。▼森でのフィールド探索では、事故を防ぐために私たちスタッフが目を離すことや走って急がせることがあってはならないと思い、水場で遊ぶとき・遊具で遊ぶときなどの全ての事に関して相手のペースに合わせて動くことが重要であると認識し、2日目のためにすることや気を付けることを把握できたと思います。▼2日目では、ご家族の優しい対応のおかげで私たち友の会のメンバーが楽しくピザ作りに協力させていただき・森遊びの時は虫を捕まえることが好きな子や水場で遊んでいる子、ハンモックに寝転び空を眺めている子など様々な子どもがいました。色々な子と遊んだり話をしたりして個性豊かな発想に触れ、自分自身が小さい子供に戻ったかのような感じがして一緒に楽しむことができました。短い時間でしたがご家族にもきょうだいにも障害や病気を持っている子にも楽しんでいただけた一日となりました。◆まとめ:病気や障がいを持った子も、私たちと同じ人間でありどんな人でも一人の人間として当たり前前の優しさを持ち、接することが大切だと思いました。そして最初から全て出来ないと決めつけて何もさせないというのは間違いで、一人一人できることがあり、サポートする人ができることを探してあげることも大切だと思いました。

- <ゲスト>株式会社今治. 夢スポーツ ヒューマンディベロップメントグループ『しまなみ野外学校』 河崎 梨乃様  
株式会社今治. 夢スポーツ パートナーシップグループ 中山 巧様  
株式会社日本M&Aセンター 業種特化事業部 業界再編部 物流業界担当 宮川 智安様  
今治明德高等学校矢田分校 教員 近藤 都様  
今治明德高等学校矢田分校 IAC部員 内山 友香さん、伊藤 杏さん  
今治青少年ロータリー友の会 横山 聖奈さん、渡邊 小蒔さん、米山記念奨学生 尹 新亮さん

## 次回例会(11月17日)

【国際奉仕委員会アワー】

<会員誕生日祝> 片山 泰志氏 (11/22) <配偶者誕生日祝> 青野 淳一氏 (11/18)

〔俵屋〕

※お弁当個数事前連絡の為、例会出欠連絡は前日16時までご連絡をよろしくお願いいたします。

